


## - 5 . 文化に資する科学技術の成果の社会的展開に関する調査研究

### Science and Technology for Culture

 <b>キーワード</b>	日本文化、科学技術、アジア文化、デジタルコンテンツ
<b>Key Word</b>	Japanese culture, science and technology, digital contents

#### 1. 調査の目的

文化に資する科学技術の重要性が指摘されているが、その具体的成果の社会的展開は緒に付いたばかりである。本調査研究においては、これまで収集し、体系的に整理した事例等について、成果の社会的フィードバック方策を多角的に検討するとともに、新産業の創出に係る調査研究を行った。

加えて、対象をアジア圏にも拡大し、アジア圏における文化に資する科学技術に関する調査研究を通して、今後の交流手法等について検討した。

#### 2. 調査研究成果概要

##### (1) 文化に資する科学技術に関わる成果の社会的フィードバック

文化に資する科学技術に関わる成果を、一般国民が理解しやすい形で社会にフィードバックするための方策を検討し実行した。

具体的には、国、自治体、大学、企業などが実施している諸方策の実情と課題について、関係機関へのヒアリングなどを行った。さらに、成果の普及を目的とする公開シンポジウム「現代技術に脈打つ日本の文化」を銀座ガスホールで開催した。伝統楽器のライブ演奏と音色の科学的分析などもまじえながら、会場にて小冊子「日本文化と科学が出会う」を配布するなどにより、幅広い層への成果のフィードバック、および参加者からの意見収集・分析を行った。



基調講演（資生堂・福原義春氏）



伝統楽器「笙」の演奏（宮田まゆみさん）



パネルディスカッション



フロアからコメントする毛利衛氏

##### (2) 新産業創出方策の検討

インターネット調査や関係者へのヒアリング等により、文化に資する科学技術の展開方向のひとつとして、伝統的技術や日本独自の技術と先端科学技術を融合することにより新産業創出につながるような社会的展開事例についての具体的事例・展開手法（産学連携、地域伝統産業の活性化手法など）の分析を行った。

### (3) アジア圏における文化に資する科学技術の展望

アジア圏における文化と科学技術の事例収集と分析を行い、アジア圏の視点からの我が国の文化に貢献する科学技術のあり方を展望した。

具体的には、アジア発のデジタルコンテンツ交流に焦点を当て、「交錯するアジア文化とテクノロジー」と題する国際ワークショップを開催した。聞香や水墨画のライブパフォーマンスも交えて、中国、韓国、台湾および日本の専門家・有識者の参加を得て、交流の現状、今後の課題等について多角的な視点から検討を行った。



変貌するバリ島文化について鼎談



水墨画パフォーマンス（土屋秋恒）



聞香体験（伊達晟聴氏）



パネル討論（河口洋一郎氏他）